０・１・２歳児の初めてのお話えほん

ひかりのくに プチパオ

あそびのえほん テーマ：当てっこ遊び

『とん とん とん』

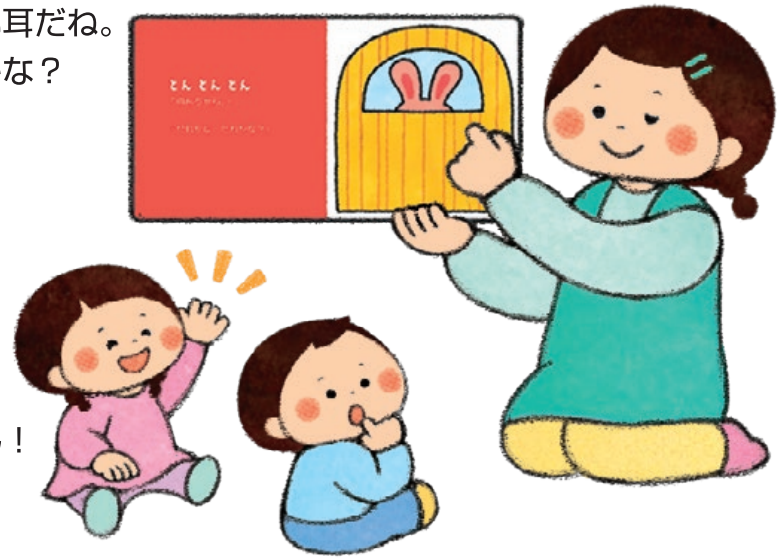
５領域との関わり　人　言　表

指導計画案例　・やりとりを楽しむ

ねらい　**活動内容**　**環境や援助**　からもご活用ください。↓

４－５ページ

長い耳だね。
誰かな？



うさぎさん！

ねらい

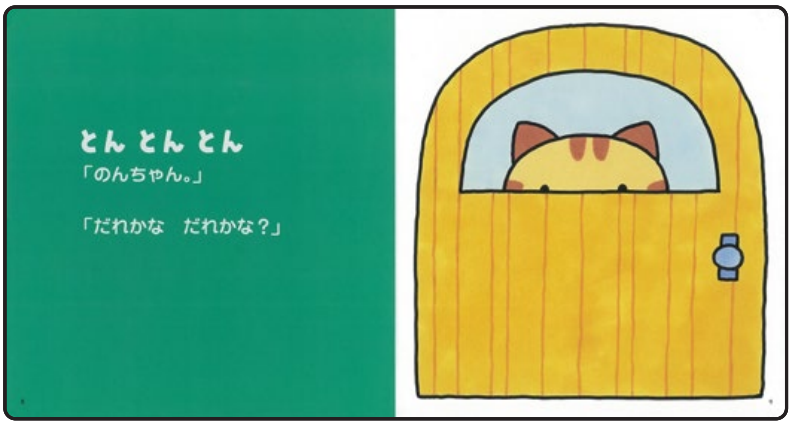
動物の特徴に興味を持つ

活動内容

・当てっこを楽しむ

環境や援助

＊動物の特徴を指差して、子どもが気付けるように促す。
＊当てっこの答えに期待が持てるように、ゆっくりとページをめくる。
＊メインの動物以外に登場する、小さな生き物などもじっくりと見せ、発見や会話を一緒に楽しむ。



扉のページ

ねらい

絵本に参加して楽しむ

活動内容

- **絵本の扉をノックする**

環境や援助

＊最初は保育者が「とんとんとん」に合わせて絵本の裏をノックし、子どもがやってみたくなるよう促す。
＊音のリズムを楽しめるように読む。
＊『のんちゃん』の部分を子どもの名前に変えて読む。

プチパオで
つなごう
園と家庭

プチパオ読んで

幸せホルモンプラス

おうちでプチパオを楽しむポイントをご紹介します。
コピーしたり、切ったりしておたよりなどにお使いください！

オキシトシンという物質をご存知ですか？　「幸せホルモン」とも呼ばれる物質で、今、とても注目されています。

オキシトシンにはたくさんの効果がありますが、特に子どもにとってはパパママへの愛着関係を作ったり、ストレスを軽くしたり、免疫力を高めたりする効果もあるんです。そして実はオキシトシンは、親子でふれあうことでたくさん分泌されるんです。

プチパオには、オキシトシンをたくさん出すふれあいのヒントが入っています。このコーナーでは、幸せをいっぱい感じるプチパオの活用の仕方について紹介します。

４月号 ふれあい遊び

「とんとん　だあれ？」

パパママは両手をドアに見立てて、自分の顔を隠してみてください。「とんとんとん…」と声をかけて、子どもがドアを開けるタイミングで「こんにちは」あるいは「ママ（パパ）でした」と言いながら顔を見せると、きっと大喜びしてくれるでしょう。

そして最後のホットケーキは、ぜひ一緒に食べるまねをして楽しんでください。一緒に遊ぶと親子とも幸せをいっぱいに感じることができますよ。

山口　創

桜美林大学リベラルアーツ学群教授。専攻は健康心理学、身体心理学。幸せホルモンとふれあいの関係について研究している。「幸せになる脳はだっこで育つ」（廣済堂）など著書多数。「朝イチ」「世界一受けたい授業」などへの出演、各種雑誌媒体の監修も行っている。